## 2022年3月期決算発表 補足資料

〔セグメント間売上消去	後〕			<u></u> は202	1/10公表	長値							_	
	2021年3	月期	202	2年3月期	1			2022年3	月期	2023年3月	期		2022年3月期 実績 ·	・・ 売上高・利益共に過去最高を更新
	通 其	月		通期	<b>-</b>			通其	期	通期			① 事業別業績概況(売上高	
	実 績	構成比	実	績	構成比	前期比		※実績	構成比	見通し	構成比	前期比	【エネルキ゛ーインフラ】 ・ガイシ	·· 減収も赤字は縮小 国内需要は低調も、価格改定効果や費用削
	億円			億円				億円	3	億円			• エナシ゛ーストレーシ゛	国内需要は固調し、価格以及効果で質用的国内外共に出荷は低調。
売上高合計	4,520	100%	5,150	5,104	100%	+13%	売上高合計	5,104		5,800	100%	+14%	- 自動車関連	・・ 増収・増益 半導体不足の影響はあったものの、年間で 加え、排ガス規制の強化により各製品の需
<海 外 売 上 高 合 計>	<3,245>	72%		<3,856>	76%	+19%	<海 外 売 上 高 合 計>	<3,856>	<b>≻</b> 76%	<4,400>	76%	+14%		·· 減収も増益
営業利益	508		830	835		+64%	営業利益	835		900		+8%	•金属	車載向け需要の増加等により増収・増益。
(率)	(11%)			(16%)			(率)	(16%)		(16%)			・電子部品 (双信雷機の連結除)	HDD用圧電素子等の需要増により増収・増 外影響:売上高ム69億円、営業利益+1億円)
エネルギーインフラ事業	420	9%	410	406	8%	△3%	エンバイロメント事業 ("EN事業")	2,927	57%	3,250	56%	+11%		<ul><li>・ 増収・増益</li><li>高水準なファウンドリ投資を背景に需要が増</li></ul>
営業利益	△40		△30	△27		-	営業利益	651		650		△0%	   ② 為替影響	売上高+127億円、営業利益+46億円
(率)	( - )			( - )			(率)	(22%	)	(20%)				(前期106円→当期113円/USD、124円→13
セラミックス 事 業	2,489	55%	3,000	2,927	57%	+18%	プラスティー デジタルソサエティ事業 ("DS事業")	1,503	29%	1,800	31%	+20%		過年度に実施した増産投資等に係る補助金
営業利益	412		680	651		+58%	営業利益	199		270		+36%	④ 法人税等還付税額   	移転価格税制に基づく更正処分等の取消か (営業外収益に還付加算金約12億円を計上
(率)	(17%)			(22%)			(率)	(13%)		(15%)			⑤ 配当	前期と比べ大幅な増収・増益となったことか
エレクトロニクス事業	541	12%	520	534	10%	Δ1%	エネルギー&インダストリー事業 ("E&I事業")	675	13%	750	13%	+11%	※ HPC…半導体製造装置用製	3円増配の33円、年間で一株当たり63円に <sup>!品</sup>
営業利益	28		50	57		+106%	営業利益	Δ14		△20		-	2023年3月期 見通し・	・・ 前期比 増収・当期純利益を除き増益
(率)	(5%)			(11%)			(率)	( -	)	( - )			1 ① 事業別業績概況(売上高	
プロセステクノロジー事業	1,070	24%	1,220	1,238	24%	+16%							【EN事業】 ・自動車関連	<ul><li>・ 増収も利益は前期並み</li><li>乗用車・トラック販売の回復に加え排ガス規価格の高騰や物流費の増加等により前期</li></ul>
営業利益	109		130	155		+43%							   【DS事業】 ·	・・ 増収・増益
(率)	(10%)			(13%)									•HPC	高水準なファウンドリ投資が継続し、増収・均
										г			<ul><li>電子デバイス</li></ul>	好調なデータセンター投資を背景にHDD用
		売上高比			売上高比	前期比				-	売上高比	前期比		5Gスマホ・ウェアラブル機器の需要堅調によ パッケージも増収となる見通し。
経 常 利 益	530	(12%)	820	862	(17%)	+63%				880	(15%)	+2%	   【E&I事業】 ・ ・エナジーストレージ	·· 増収も赤字が継続 引き合いは活況も部品の調達難の影響もあ
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	385	(9%)	600	709	(14%)	+84%				650	(11%)	△8%	・ガイシ ・産業プロセス	海外向けが増加し増収となるも、原材料価材電子部品向けやリチウムイオン電池正極材
ROE	7.9%	•		12.99	%					10	).8%		② 為替影響	
1 株 当 たり純 利 益	121.61	円		226.56	円					208.	.57円		· 前期比 	売上高 +106億円、営業利益 +64億円 (前期113円→当期120円/USD、131円→1

※2023年3月期の期首より事業セグメントを変更しています。この変更に伴い2022年3月期の経営成績についても同様のセグメント区分に組み替えて表示しています。

4事業本部から3事業本部に再編し、プロセステクノロジー事業本部を解消しています。

配当金(配当性向)

為 替 レート(円/USD)

為 替 レート(円/EUR)

設備投資

減価償却費

研究開発費

30円(24.7%)

508 (11%)

(10%)

(5%)

449

224

セラミックス事業本部をエンバイロメント事業本部("EN事業本部")に改称しています。 エレクトロニクス事業本部を解消し、HPC事業、電子デバイス事業、金属事業でデジタルソサエティ事業本部("DS事業本部")に再編しています。

63円(27.8%)

113

381

236

(7%)

493 (10%) +10%

(5%)

△25%

十5%

エネルギーインフラ事業本部を解消し、エナジーストレージ事業、ガイシ事業、産業プロセス事業でエネルギー&インダストリー事業本部("E&I事業本部")に再編しています。

用削減等により黒字化。

引では乗用車・トラック販売台数の回復に

需要が増加し、増収・増益。

が増加し、増収・増益。

→131円/EUR) 助金49億円を計上。

消が確定し、約58億円を計上。

とから、当期末の配当は前回予想より1株当たり

]に上方修正。

## 曽益の見通し

く規制強化により増収も、利益は原燃料

期並みの見通し。

マ・増益の見通し。

用圧電素子が増収となるほか、車載・

こより、水晶デバイス向けセラミック

もあり、赤字は継続する見通し。

価格の高騰により利益は前期並み。

は材向け焼成炉の需要が拡大し、増収の見通し。

(前期113円→当期120円/USD、131円→130円/EUR)

・年間1円当たりの影響

USD(売上高15億円、営業利益7.3億円) EUR(売上高 7億円、営業利益1.0億円)

③ 配当予想 中間33円、期末33円の年間66円を予定。

④ 事業セグメントの変更

66円(31.6%)

(10%) | +55%

十8%

十10%

(9%)

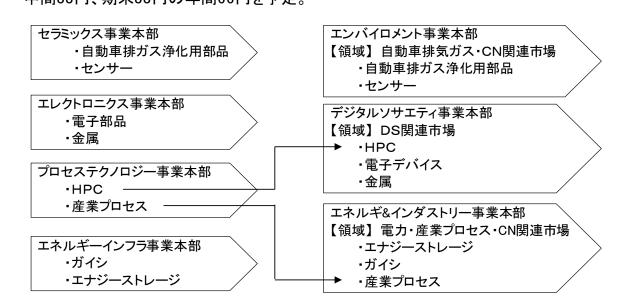
(4%)

120

590

530

260



「セグメント間売上消去後〕

〔セグメント間売上消去?	後」				
	2021年3.	月期	2022年3	月期	
	第2四半期	累計	第2四半期累計		
	実 績	構成比	実 績	構成比	
	億円		億円		
売上高合計	1,949	100%	2,502	100%	
<海外売上高合計>	<1,362>	70%	<1,904>	76%	
営業利益	116		459		
(率)	(6%)		(18%)		
エネルギーインフラ事業	191	10%	199	8%	
営業利益	Δ23		Δ9		
(率)	(-)		( - )		
セラミックス 事 業	983	50%	1,476	59%	
営業利益	66		368		
(率)	(7%)		(25%)		
エレクトロニクス事業	268	14%	257	10%	
営業利益	6		30		
(率)	(2%)		(12%)		
プロセステクノロジー事業	507	26%	570	23%	
営業利益	66		71		
(率)	(13%)		(12%)		

	2022年3.	月期	2023年3.	前年	
	第2四半期	累計	第2四半期		
	※実績	構成比	見 通し	構成比	h) 201 FC
	億円		億円		
売上高合計	2,502	100%	2,750	100%	+10%
<海外売上高合計>	<1,904>	76%	<2,100>	76%	+10%
営業利益	459		410		Δ11%
(率)	(18%)		(15%)		
エンバイロメント事業 ("EN事業")	1,476	59%	1,540	56%	+4%
営業利益	368		310		△16%
(率)	(25%)		(20%)		
デジタルソサエティ事業 ("DS事業")	715	29%	850	31%	+19%
営業利益	100		120		+20%
(率)	(14%)		(14%)		
エネルギー&インダストリー事業 ("E&I事業")	311	12%	360	13%	+16%
営業利益	Δ9		Δ20		_
(率)	(-)		( - )		

		売上高比		売上高比
経常利益	122	(6%)	439	(18%)
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	73	(4%)	320	(13%)
為 替 レート(円/USD)	107		110	
為 替 レート(円/EUR)	121		131	
設 備 投 資	290	(15%)	164	(7%)
減 価 償 却 費	217	(11%)	241	(10%)
研究開発費	107	(5%)	108	(4%)

	売上高比	前年 同期比
390	(14%)	△11%
280	(10%)	△12%
120		
130		
270	(10%)	+64%
250	(9%)	+4%
120	(4%)	十12%

※2023年3月期の期首より事業セグメントを変更しています。

- この変更に伴い2022年3月期第2四半期累計期間の経営成績についても同様のセグメント区分に組み替えて表示しています。
- 4事業本部から3事業本部に再編し、プロセステクノロジー事業本部を解消しています。
- セラミックス事業本部をエンバイロメント事業本部("EN事業本部")に改称しています。
- エレクトロニクス事業本部を解消し、HPC事業、電子デバイス事業、金属事業でデジタルソサエティ事業本部("DS事業本部")に再編しています。
- エネルギーインフラ事業本部を解消し、エナジーストレージ事業、ガイシ事業、産業プロセス事業でエネルギー&インダストリー事業本部("E&I事業本部")に再編しています。